



「尚徳」 5月号 第560号 令和元年5月24日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)



## 不易流行 ～平成から令和へ～

副校長 志和 俊哉

元号が「平成」から「令和」にかわりました。私は、昭和63年4月鳥取県の教諭として採用になりました。つまり、昭和最後の採用なのです。私の教員人生は平成と共に歩んできました。平成のおよそ30年を振り返ってみると、

学習内容では、生活科や総合的な学習の時間、外国語活動の授業が設定されました。学校生活では、土曜日が休みになり週休2日となりました。また、鳥取市では前後期制となり、8月31日までの夏休みという概念がなくなったり、秋休みができました。学校体制では、一学級の児童定員が1・2年生35名、3年生以上40名（鳥取県では、2年生35名、3年生以上40名）となりました。さらに、少人数指導やチームティーチングなどの学習形態をとり、より細やかに一人ひとりの児童を指導・支援していく体制が整えられてきました。

鳥取市では平成7年まで各小学校に野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球の部があり、中学校と同じように放課後教員が指導し、鳥取市の大会が開催されていました。

本校に関することでは、鳥取大学教育学部附属小学校→鳥取大学教育地域科学部附属小学校→鳥取大学附属小学校と学校名がかわっていきました。平成7年にパソコン42台と校内LANを整備したり、平成10年から英会話学習を取り入れたり、最新の教育活動に取り組んでいます。また、春川教育大学校附設初等学校との交流が平成8年から始まり今に続いています。

そして、新しい学習指導要領が、来年度完全実施されます。

このように教育は時代と共に変化していきます。しかし、いつの時代も変わらない内容があります。それは「礼儀・感謝・思いやり」です。子供たちは、何らかのコミュニティの中で生活しています。また、これからも生活していくことでしょう。その中で、大切な人間関係を築いていく力は、いつの時代でもかわるものではありません。「自分も大切、他の人も大切」という思いをもって、これからもさらに成長していってほしいと思います。

## 6月の行事予定



|                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1日(土) 鳥取大学記念日        | 17日(月) 【A週】         |
| 3日(月) 【A週】           | 3年湖山池探検             |
| 夏服衣替え                | 校内授業研究会             |
| 研究日                  | 研究日                 |
| 5日(水) 委員会            | 18日(火) 小中合同引き渡し避難訓練 |
| 6日(木) 附属学校交流コンサート    | 19日(水) わくわくタイム      |
| おはなしの会 OG 読み聞かせ      | 20日(木) 4年校外学習(大学)   |
| 7日(金) プログラミング教育研修会   | おはなしの会 OG 読み聞かせ     |
| 8日(土) 懇話会親睦球技大会      | 春川交流保護者説明会          |
| 10日(月) 【B週】          | 24日(月) 【B週】         |
| 校内授業研究会              | 校内授業研究会             |
| 研究日                  | 研究日                 |
| 集金引き落とし日             | 25日(火) 1・2年合同読み聞かせ  |
| 11日(火) 1年保護者給食試食会    | 26日(水) 前期個別懇談・5校時学習 |
| 1年人権教育研修会            | 27日(木) 前期個別懇談・5校時学習 |
| おはようおはなしの会(下)        | 28日(金) 前期個別懇談・5校時学習 |
| 12日(水) 職員会議          | 3・4年合同読み聞かせ         |
| 13日(木) 5年知財創造教育学習    |                     |
| 14日(金) おはようおはなしの会(上) |                     |

## 学校の様子・子供の様子①

### \*\*\* 旅の学校（6年生） \*\*\*

4月24日(水)～26日(金)、6年生は「旅の学校」でした。

2泊3日の旅程で、1日目は広島で平和学習、宮島手前の宿に宿泊しました。2日目朝に宮島に渡り、厳島神社の見学、昼食にお好み焼き作りの体験、岡山の鉄鋼メーカー見学、赤穂に移動宿泊しました。3日目は姫路城と姫路セントラルパークで過ごし、夕方鳥取に帰ってきました。

今年の6年生も、5年生のときに、鳥取大学の高橋健司先生（社会科の共同研究者）のゼミ生の授業で、アメリカ人のシュモー氏について学んでいました。その事前学習をもとに語り部の方から話を聞き、資料館の見学や碑巡りで学習を深めました。伝統である「夜の平和学習」でも、一人一人が平和についての意見をしっかりと発表しており、頼もしい“附属の子供”を県外でも感じることができました。



### \*\*\* 砂の学校 \*\*\*

5月9日に「砂の学校」を、2年ぶりに鳥取砂丘で実施しました。

砂丘の大自然に全校児童がふれ、各種の運動に親しむことを通して、学年を解いた縦割り班活動で交流を深めるとともに、協力することの大切さを体験するというねらいとして、きょうだい学級で一緒に歩いたり、縦割り班で競争したり弁当を食べたりしました。他の団体が全くおらず、附属小学校の子供たちだけで思いっきり活動し、楽しむことができました。

競技は「中距離走」「まっぼっくり拾い（下学年）」「砂盛り競争」「綱うばい（上学年）」の4種類でした。「中距離走」では、砂丘特有の起伏のある斜面を元気よく走り抜けました。あとの競技でも、友達や自分のチームの人を応援したり、応援の声を精一杯出したりして、会を盛り上げようとする姿が見られました。

今後も学校での「わくわくタイム」などで、継続的に異学年の友達との関わりを通して、集団で生活する上での関係づくりやコミュニケーションの力を育てていきたいと考えています。



## 学校の様子・子供の様子②

### \*\*\* 知的財産創造教育（5年生） \*\*\*

5月13日(月)は、5年生で知的財産創造教育の視点での学習が始まりました。

知的財産とは、創造的活動により、これまでにない新しい価値を生み出す資質や能力のことで、創造的活動を体験することで知的財産に関心を持ち、児童にとって身近なものにしていく教育活動です。この教育は鳥取大学医学部附属病院の植木先生が中心となり学習が展開されていました。しかし、短時間で活動が終わるものが多かったため、この度年間を通した学習プログラムの作成をめざし、本校の5年生で実践を試みることになりました。全国に先駆けた学習活動となります。

この日は、実物の内視鏡等を準備していただき、体験を行うとともに患者にとってより快適な内視鏡にするための“発明”について聞きました。子供たちの興味や関心が高まるように工夫された活動の中、生き生きと学習に取り組んでいました。



### \*\*\* 新体力テスト \*\*\*

5月17日(金)、活動すると汗が出るよい天候の中、新体力テストの一部を全校で時間を取り実施しました。

今回は、5年生が高学年として行事の補助になり、記録をしたり、並ばせたりしました。6年生は、1年生とグループになり、各測定場所を回りました。

自分の記録に一喜一憂しながら、力いっぱい測定を楽しんでいる子供たちがとても印象的でした。

記録が終わると教室に戻り、静かに読書などして待っている姿も見られ、場面に応じて気持ちを切り替えて学校生活を過ごしている子供たちに感心しました。



### \*\*\* プールサイド改修とプール掃除 \*\*\*

全校で手分けをして、プール掃除を実施しました。

1～4年生は、プール周辺の草取りと整備、5・6年生は大・小プールや更衣室等、各学年で分担して、水泳学習ができるようにきれいに掃除しました。きれいになったプールでの水泳学習をがんばりたいと思います。

また、プールサイドのシートの破れがあり危険であったため、プールサイドの改修工事を行いました。鮮やかな緑色のプールサイドになり、きらきらとまぶしいプールに生まれ変わっています。

5月下旬にはプールに水が張られます。6月になると学習が始まる予定です。

